

承認番号	3187
研究課題名	腹腔鏡下肝切除術の治療成績に関する多施設共同研究 (ELSSG2015)
研究の意義・目的	肝切除は従来開腹で行ってきましたが、近年の腹腔鏡下肝切除の導入および保険適応拡大により、症例数は増加の一途をたどっています。腹腔鏡下肝切除術の難易度の指標として2014年に本邦から”Difficulty score”「難易度スコア」が発信され、本研究の一環として多施設共同研究で、その検証を行い、難易度スコアが術中、術後成績に相関することを報告しました (J Am Coll Surg 2017;225: 249-258)。しかし、この難易度スコアでは不足している項目があり、それを補足する目的で2017年IWATE criteriaが提唱されました。また海外からも Gayet’s (difficulty) classificationが提唱されました。多施設共同研究によってこれらの新しい難易度スコアの検証を含めた臨床病理学的因子や術中因子から術後治療成績を検討し、腹腔鏡下肝切除術のさらなる安全性の向上を目指す研究です。
研究期間	承認後 ～ 2019年12月31日 (西暦)
研究対象者の範囲	2010年から2014年の期間に腹腔鏡下肝切除術が施行なされ、経過観察されている患者様
利用又は提供する試料・情報の項目	診療記録 (背景、年齢、性別、肝腫瘍の種類、術式、手術時間、出血量、術後合併症、在院死の症例では死因)
利用者の範囲	自施設のみ (研究は全国74施設で行われます)
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪公立大学医学部附属病院 肝胆膵外科 久保正二
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	研究責任者 大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 病院教授 久保正二 住所 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 肝胆膵外科学医局 電話 06-6645-3841 FAX 06-6646-6057 E-mail m7696493@med.osaka-cu.ac.jp